社会福祉法人かるべの郷福祉会

令和３年度事業報告

社会福祉法人かるべの郷福祉会

	事業所名	事業種別	住所	定員	頁
	本部拠点区分				
	法人本部		養父市十二所 871		1P
シニア	**あじさい拠点区分**				
	養護老人ホームかるべの郷あじさい	特定入居者生活介護	養父市十二所 871	50 名	8P
	さざんか拠点区分				
	特別養護老人ホームかるべの郷さざんか	老人福祉施設	養父市十二所 871	50 名	11P
	かるべの郷さざんか短期入所生活介護事業所	短期入所（介護予防を含む） 短期入所（障がい）	養父市十二所 871	13 名	
	かるべの郷デイサービスセンター	通所介護 通所型介護予防サービス 基準該当生活介護（障がい）	養父市十二所 871	60 名	16P
	かるべの郷花笑み倶楽部	通所型生活機能向上サービス	養父市十二所 871	10 名	20P
	『KARUBE・GARDEN　LIVING』 ・かるべの郷短期入所生活介護事業所 ・かるべの郷認知症対応型共同生活介護事業所	 短期入所（介護予防を含む） 認知症対応型共同生活介護 （介護予防を含む）	養父市十二所 906-1	 20 名 18 名	 21P 23P
ホームケア	介護職員の養成等事業 ・かるべの郷実務者研修 ・かるべの郷喀痰吸引等研修		養父市十二所 871	 15 名 10 名	 25P
	ドリームワークス拠点区分				
	『KARUBE・TREE×TREE』 かるべの郷居宅介護支援事業所	居宅介護支援	養父市上箇 153-1		26P
	高齢者相談センターやぶ	（養父市の委託事業）	養父市上箇 153-1		28P
	高齢者相談センターようか	（養父市の委託事業）	養父市八鹿町八鹿 1576		30P
	相談センターpolaris	（養父市の委託事業）	養父市八鹿町八鹿 1576		32P
	かるべの郷ホームヘルパーステーション	訪問介護 訪問型介護予防サービス 訪問型生活機能向上サービス 居宅介護・重度訪問介護・同行援護（障がい）	養父市広谷 83		35P
チャレンジド	かるべの郷ドリームワークス	就労継続支援 B 型	養父市広谷 83	55 名	37P
	かるべの郷ドリーム相談所	一般相談（地域移行・地域定着） 特定相談（計画相談）	養父市広谷 83		40P
	かるべの郷ドリームブリッジ	自立生活援助	養父市広谷 83		46P
	かるべの郷グループホーム夢一	共同生活援助	養父市上箇 438-1 養父市上野 1347　B106 養父市上箇 438-1 養父市上野 1347　B207 養父市広谷字下町 115	8 名 1 名 10 名 1 名 7 名	47P
	かるべの郷多機能型事業所ドリームスペース	就労継続支援 B 型 生活介護	養父市八鹿町八鹿 1576	14 名 6 名	49P
	かるべの郷放課後等デイサービス	放課後等デイサービス	養父市八鹿町八鹿 1576	10 名	51P

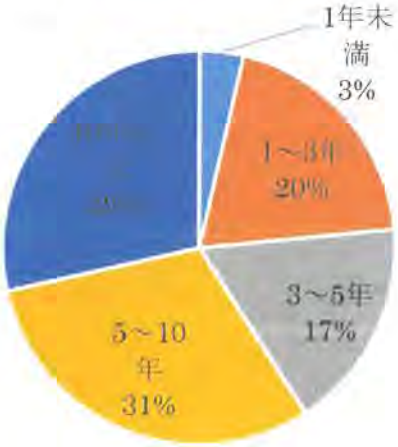
令和３年度　社会福祉法人かるべの郷福祉会法人事業報告

Ⅰ．令和３年度の主な事業

・新卒職員１名を含め１４名の職員を採用。退職者は１０名であり、職員数は１９６名となった
・経営組織のガバナンス（統治）の強化と公益性の担保のため、評議員会・理事会を開催し、法令順守に努めた
・実地指導を受けたが、特段の指摘事項は無かった
・地域との共生と人材育成を意識し、地域社会に貢献できるよう様々な事業に取り組んだ。
・キャリアアップ制度に基づき定期的な評価と面接を実施し、個々の職員の目標を明確にした
・主任研修、希望する者に対し「かるべの郷人材育成研修」を実施した
・各事業所が毎月の収入を入力し、自分たちの経営状況の把握及び経営状況の改善に努めた
・かるべの郷デイサービスセンターの機能訓練を充実させることができ、お客様の評判も上々であった
・８月にかるべの郷グループホーム夢一にサテライト住居を設けた
・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び感染対策に取り組んだ
・障害者雇用について
　常勤の介護支援員１名及びピアサポーター３名を雇用している。
・男女共同参画社会の推進について

	男性職員	女性職員
全体の人数	42 人	154 人
正規職員	24 人（57.1%）	56 人（36.4%）
主任以上の役職者	7 人（16.7%）	14 人（9.1%）

・勤続年数について



Ⅱ. 概要

1．組織

（1）理事会・評議員会

理事　定員６名　　評議員　定員７名　　監事　定員２名　　欠員なし

（2）理事会・評議員会開催状況

令和３年度理事会

	開催日	議案
第１回	令和 3 年 5 月 14 日	1. かるべの郷ドリームワークス耐震工事の入札について
第２回	令和 3 年 6 月 3 日	1. 社会福祉法人かるべの郷福祉会令和２年度事業報告（案）について 2. 社会福祉法人かるべの郷福祉会令和２年度決算報告（案）について 3. 社会福祉法人かるべの郷福祉会第９期理事・監事候補者の選任について 4. 社会福祉法人かるべの郷福祉会第７期評議員候補者の選任について 5. 社会福祉法人かるべの郷福祉会次期評議員会の開催について 6. かるべの郷ドリームワークス改修工事請負契約について 7. 社会福祉法人かるべの郷福祉会公印管理規程の変更について 報告事項：理事長の職務の執行の状況
第３回	令和 3 年 6 月 23 日	1. 社会福祉法人かるべの郷福祉会第９期理事長の選任について
第４回	令和 3 年 9 月 15 日	1. かるべの郷グループホーム夢一運営規程の変更について 2. 自然災害時における業務継続計画について 3. 資金の借り入れについて 報告事項：理事長の職務の執行の状況
第５回	令和 4 年 3 月 25 日	1. 社会福祉法人かるべの郷福祉会令和３年度補正予算（案）について 2. 社会福祉法人かるべの郷福祉会令和４年度事業計画（案）について 3. 社会福祉法人かるべの郷福祉会令和４年度予算（案）について 4. 給与規程の変更について 5. 評議員選任・解任委員の選任について 6. 運営規程の変更について 7. かるべの郷グループホーム夢一世話人の配置について 8. かるべの郷グループホーム夢一運営規程の変更について 報告事項：理事長の職務の執行の状況

令和３年度評議員会

	開催日	協議事項
第１回	令和 3 年 6 月 （書面開催）	1. 社会福祉法人かるべの郷福祉会令和２年度決算報告（案）について 2. 社会福祉法人かるべの郷福祉会第９期理事の選任について 3. 社会福祉法人かるべの郷福祉会第９期監事の選任について 報告事項：社会福祉法人かるべの郷福祉会令和２年度事業報告

令和３年度監事監査

開催日	監査事項
令和 3 年 5 月 14 日	・理事の職務の執行状況 ・事業報告及びその付属明細書 ・計算関係書類（計算書類及びその付属明細書） ・財産目録

２．人事労務管理

①人材育成

・法人内資格保持者数　（人）

資格種類	取得者数	資格種類	取得者数
介護職員初任者研修	8	相談支援専門員	7
ホームヘルパー２級	34	主任相談支援専門員	1
介護職員実務者研修	33	*サービス管理責任者	10
喀痰吸引等研修	22	看護師	16
介護福祉士	90	准看護師	2
社会福祉主事	15	保育士	12
社会福祉士	12	強度行動障害支援者実践研修	4
精神保健福祉士	5	医療的ケア児等支援者養成研修	2
理学療法士・作業療法士	2	医療的ケア児等コーディネーター養成研修	2
介護支援専門員	26	管理栄養士	4
主任介護支援専門員	6	調理師	14
認知症介護基礎研修	5	秘書検定２級	7
認知症介護実践者研修	17	福祉住環境コーディネーター	3
認知症介護リーダー研修	4	労働安全対策担当者研修	2

＊サービス管理責任者には児童発達支援管理責任者を含む

・法人全体での研修会の開催

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、毎年４月１日に実施している法人全体の経

営方針説明会は正規職員及び嘱託職員のみを対象として行った。感染対策研修会は全体で行うことは中止し、各事業所内での研修とした。各部署で感染対策等のシミュレーションを実施し、注意事項についてはオクレンジャー（緊急連絡網・安否確認システムのアプリ）等で速やかに発信した。

②介護職員の確保

・ホームページ等の活用で、広く“かるべの郷”をアピール
・就職フェア等の参加
・ハローワーク主催企業説明会への参加

③職場環境

・職員の健康づくり（40歳以上の希望者に人間ドッグを実施・市と協力した体力測定会は中止）
・安全運転への配慮（制限速度・道路交通法の遵守・運転する職員への研修を実施）
・社会保険労務士と共に安全衛生委員会を開催し、安全衛生パトロールを実施
・ストレスチェックの実施
・非常災害対策計画・業務継続計画（BCP）の策定及び見直し
・消防訓練（消火・避難訓練）年２回
・働き方改革により年休取得を推進
・「ユースエール企業」（若者の育成や採用に積極的である企業）に認定された
・6/1より「ホワイト企業認定（PLATINUM）」の承認を受けた
・「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」の認定を受けた
・分かりやすい評価と昇給制度及び定期的な面接で職員の「やりがい」につなげた

３．事業管理

（１）シニア事業部

・特別養護老人ホームかるべの郷さざんかでは、職員自らが自分たちの問題を解決していけるよう、３つの委員会（５Ｓ委員会・ノーリフティングケア委員会・常に考える委員会）を立ち上げ、問題解決について検討した
・ノーリフティングケアを実施、意識づけで常に考えることを意識できるようになった
・お客さまの状況に合わせ、サービス内容を柔軟に変更し対応
・職場内での研修（職員が講師となり、多岐に渡る研修を実施）
・認知症ケアの充実（研修に参加し、伝達研修を行う）
・精神疾患や障がいをお持ちの方への支援について学んだ
・感染予防対策のため外出制限等を行う中、快適に過ごしていただけるよう行事等を計画した
・かるべの郷デイサービスセンターで『過ごし方を自分で決めていただく充実した個別プログラム』に取り組んだ
・実地指導を受けたが特段指摘事項は無かった

（2）チャレンジド事業部

・長期入院精神障害者地域移行推進事業の受託
・地域移行・地域定着を積極的に実施し、他の相談支援事業所等にスーパービジョンを行う
・相談支援従事者初任者研修でのファシリテーターで養成や資質の向上に寄与
・主任相談支援専門員として、相談支援専門員の資質向上に取り組む
・かるべの郷ドリームワークスの耐震補強及び１階の改修工事を行い、お客様が快適に仕事しやすい場となった。
・かるべの郷ドリームブリッジ（自立生活援助）で、精神科病院の退院者の困りごとについてきめ細やかに支援した
・かるべの郷グループホーム夢一各事業所で、精神科病院退院者の地域での生活に取り組んだ
・かるべの郷放課後等デイサービスでご家族様と連絡が速やかに取れるようLINEを活用した
・養父市自立支援協議会に協力し、構成員として地域課題について検討した
・かるべの郷グループホーム夢一が実地指導を受け、指摘事項は速やかに改善を図った

（3）ホームケア事業部

・南但馬で唯一特定事業所加算（Ⅰ）を算定しているヘルパー事業所として、質の高いサービスの提供に努めた
・難聴の方との意思疎通がはかれるようコミューンモバイルを導入した
・特定事業所加算（Ⅱ）を算定している居宅介護支援事業所として、質の向上に努めた
・高齢者相談センターようか・やぶで総合相談を実施
・次年度以降も高齢者相談センターようか・やぶを受託することとなった
・相談センターpolarisで、市内の引きこもりに関する相談を実施
・人材育成と資格取得のため、実務者研修と喀痰吸引等研修を実施

Ⅲ. 地域との共生

（1）地域から法人へ

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、昨年度に引き続き今年度も夏祭りを実施せず。ボランティアの受け入れもやむなく中止した。

（2）法人から地域へ

・安心見守りネットワークへの参加

・介護技術講習会（『KARUBE・TREE×TREE』にてカフェ開催）

・養父中学校出前授業（兵庫県老人福祉事業協会　介護業務イメージアップ推進事業）

・就職フェア等への参加

・令和３年度　『KARUBE・TREE×TREE』　来客状況

目　的	相談	休憩	トイレ	その他	合計
人　数	208	52	41	351	652

＊新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用される方は昨年度より減少した

Ⅳ. その他

（1）新型コロナウイルス感染症について

令和３年５月、ヘルパーのお客様が新型コロナウイルス感染症を発症し、訪問したヘルパー２名が濃厚接触者、他のヘルパーも接触者として経過観察の指示が出たため、二日間営業を休止した。接触者に PCR を受けさせ陰性を確認して訪問を再開。濃厚接触者も陰性を確認していたが、自宅待機を経て職務に戻った。

令和４年１月、特別養護老人ホームかるべの郷さざんかで職員が１名発症。その後感染が広がり、保健所の指示にてゾーン分け等行い感染対応を実施。職員も多く発症したため、他事業所職員の応援を受けて事業を継続。デイサービスに感染はみられなかったが、協力体制のために２週間弱営業を休止した。３週間後には特養の感染対策も解除となった。感染症や持病の悪化により亡くなられたお客様もあり、ご家族様に幾度となく謝罪したが、法人の責任を問う声もなく、逆に感謝の言葉をいただいた。

（2）感染対策について

・お客様・職員に対してワクチン接種の実施

・施設内等、人が触る部分を毎日消毒（通年実施中）

・職員の検温及び体調確認

・サービス利用前に、お客様及びご家族様の検温及び体調確認

・職員が、三密となる場所及び遠方への外出の自粛

・面会制限及びそれに伴うご家族様への電話等の対応

・オンライン面会の実施
・法人内の会議の自粛
・国の通達による、モニタリング訪問及びサービス担当者会議等の自粛
・物品（マスク・消毒用アルコール・手袋・ガウン等）の調達
・お客様、ご家族様に法人内での新型コロナウィルス感染症対策について文書でお知らせ
・業務継続計画（BCP）の見直し

（3）対応について
・感染した職員には見舞金を支払い、支援に入った職員には危険手当を支払った
・近隣の法人や理事等役員から、物品の支援や励ましの声をいただいた

令和３年度　養護老人ホームかるべの郷あじさい事業報告

１．総括

養護老人ホームかるべの郷あじさいが地域貢献のために何ができるのかを念頭に置き、全職員が「社是」「社訓」「行動指針」に基づいた行動に努めた。お客様がその人らしく生きがいのある生活を送ることができるとともに、安心して充実した毎日を過ごして頂けるようサービスの提供に努めた。

（１）業務内容の改善について

日々のミーティングの中で、「お客様へのケア」「業務」「事故、ヒヤリ・ハット」等を確認・検討し合うことで、お客様の安心で快適な生活が提供できると共に、職員が安心してケアが提供できるよう努めた。

また、定期的（月１回）に職員会議を開催し、職員ひとりひとりが問題を問題として捉え、お客様のために自分たちは何ができるのか、どうすれば解決できるのか考える力を身につけられるように努めた。

（２）各関係機関との連携について

養父市、朝来市、豊岡市、香美町等の担当者と、日頃から訪問や電話連絡等で情報交換を行い、いざという時に協力し合える関係性の構築に努めた。経済的理由や精神疾患等を抱えているために在宅生活が困難な方、他施設への入所を断られた方等、養父市、朝来市以外の市町のお客様の受け入れについても市役所と連携を図り対応した。また、お客様の中には、精神科病院をはじめ整形外科、眼科など専門医の協力が必要な方も多く、各医療機関とも連携を図った。災害時（特に台風時）は受け入れの対応が即時にできるよう職員が待機し、養父市役所や地域の区長等と連絡を取り合った。

２．行事内容の充実への取り組み

お客様に、あじさいでの生活の中で楽しみや気分転換の機会が持てるよう、毎月、季節感を感じられるような行事等を計画・実施した。また、感染症拡大予防のため、地域行事や外出行事等が行えず、行動が制限されている状況のため、昨年、設けた農作業スペースを拡大し、より多くの利用者に農作業を楽しんで頂ける環境を整えた。また、作業風景等を撮影した写真を食堂等の見やすい場所に展示して、普段農作業をされない方にもどのようなことをしているのか写真を見て楽しんでいただく工夫を取り入れた。

普段居室で過ごしている時間が多い方が中庭の畑で作物を収穫したり、収穫した野菜を調理したり、入所者が意欲的に取り組んでいた。

また、介護予防のため１日に2～3回体操を行う機会を毎日設けた。また、ゲームや歌などのレクリエーションを実施し楽しみながら身体を動かすことができるようにした。

〔行事内容〕

	行事内容
4月	上旬　桜の花見 14日　春のパン祭り 21日　会食（よせ鍋）
5月	12日　盛り盛りデザート作り 22日　DVD鑑賞会
6月	16日　ホットケーキ作り
7月	30日　あじさい夏祭り
8月	18日　盛りつけかき氷
9月	22日　あじさい敬老会
10月	16日　お茶会
11月	17日　ラーメンパーティー 30日　焼き芋大会
12月	28日　年忘れ会
1月	1日　新年祝賀会
2月	4日　節分行事
3月	22日　お茶会

〔その他〕

『生け花クラブ』（第1・3火曜日実施）
『和み喫茶』（月1回）
『誕生祝会』（月1回）
『カラオケ』（月4回）
『クッキング』（月1回）

3．職員の専門性を高める取り組み

地域移行で精神科病院を退院された方を積極的に受け入れ、入所されるお客様に精神疾患を抱えておられる方が増加し、多種多様な関わり方が求められるようになった。病気や障がいに合わせた適切なケアが行えるよう勉強会を開催し、病気や障がいの理解を深めるとともに、各職員が専門的な知識や技術のレベルを向上し、お客様に適切なサービスを提供できるよう努めた。

感染症予防のため外部の研修へ参加する機会はあまりもてなかったが、日々のミーティングや職員会議の時間を活用し、利用者ひとりひとりに寄り添ったケアを提供するために根拠に基づいた方法を検討するように努めた。

〔研修内容〕

研修日	研修名	研修場所
06 月 25 日	育成者指導スキルアップ研修受講者見学・相談会	但馬長寿の郷
09 月 03 日	育成者指導スキルアップ研修 「ポジショニング」①	但馬長寿の郷
10 月 19 日	介護福祉士実習指導者講習会	兵庫県中央労働センター
10 月 20 日	育成指導者スキルアップ研修 「起居・移乗コース」①	但馬長寿の郷
10 月 21 日	精神疾患と認知症について（オンライン研修）	県福祉センター
11 月 02 日	介護技術研修 「個別機能訓練」	但馬長寿の郷
12 月 02 日	但馬ブロック養護部会職員研修 「精神疾患の基礎知識や対応方法、職員のメンタルヘルスケアについて」	オンライン研修
12 月 09 日	身体拘束・虐待防止研修会	オンライン研修
12 月 13 日	養護部会職員研修会 「感染の疑いが発生した場合に行うべきケアの方法」 「感染拡大防止への取組について」	オンライン研修
12 月 27 日	育成者指導スキルアップ研修 「ポジショニング」②	但馬長寿の郷
01 月 06 日	育成指導者スキルアップ研修 「起居・移乗コース」②	但馬長寿の郷

4．入所者人数

〔月初入所者数〕 （人）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均人数
50	50	49	48	49	50	49	48	48	46	47	48	48.5

令和３年度　特別養護老人ホームかるべの郷さざんか事業報告

全職員が、毎日１つずつ『社是』『行動指針』『社訓』の言葉とそれに対する自分の考えを書き込み、常に理念を意識できるように取り組んだ。そして、理念を遵守したサービスが提供できるさざんかを目指した。

また、職員一人ひとりがお客様を心から大切にしたサービスを提供するとともに、職員が働きやすいさざんかを目指し、さざんかの問題はさざんかの職員で解決していくため３つの委員会を設け、毎月サービスや業務の見直しを行った。

１．委員会の取り組みについて

（１）５Ｓ（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）委員会

“お客様の生活環境を整える”という行動をとることが苦手な職員が多いさざんかで、どうすれば全員が継続してできるようになるか、という問題を検討。

汚物処理室や倉庫を整理整頓し、職員が効率よく動けるようにするとともに衛生的な環境を整えた。

定期的にパトロールを行い、客観的に汚れや乱れなどを確認する機会を設け、全職員が意識を持てるようにしていく働きかけを実施。

（２）ノーリフティングケア委員会

さざんかのケア全てにおいてノーリフティングケアを実践し、リフトやボードなどの福祉用具を使いこなせるようになり、現在ではお客様を持ち上げるケアはゼロとなった。

職員の腰に負担のないケアをさらに実践できるよう、起居や移乗の正しい介護技術の全職員の習得に向け勉強会などを開催している。

（３）常に考えるケア委員会

事故・ヒヤリハットの再検討し、同じことが起こらないよう具体的な対応策を決めるということを継続して行うようになり、事故後は必ず検証し原因を把握しようとする意識が定着した。また、ヒヤリハットの件数が増加し各職員が気づき力を上げようとする意識が生まれた。

夜間不眠の方がどうすれば眠れるようになるかといった個別のケース検討等、考えなければいけない事柄について、データ収集→検討→試行→評価を繰り返し実施していった。不眠の方については、薬の調整や排泄介助のかかわり方等を見直し、朝まで眠ることができるようになった。

2．職員の専門性・人間性を高める取り組みについて

（1）お客様、職員双方に負担のない正しい介護技術、認知症の方が安心して過ごしていただけるような認知症ケアを習得できるよう、可能な限り参加可能な職員は研修に参可。

また、リーダーとなる職員に指導者養成の研修に参加し根拠に基づいた指導方法を学び、統一した介護技術を広げていけるよう勉強会を実施した。

〔外部研修〕

研修日	研修名	研修場所
4月～9月	かるべの郷実務者研修	かるべの郷福祉会
05月12日	介護技術研修「地域ケア概論」	但馬長寿の郷
10月20日	介護技術研修「シーティング」	但馬長寿の郷
06月15日 09月04日 10月26日 03月11日	介護職の職場定着等に関する検討会議 「シーティング」テキスト作成	但馬長寿の郷
06月10日 06月25日	育成指導者スキルアップ研修	但馬長寿の郷
07月12日	クラスター発生防止研修	WEB
07月30日	安全対策担当者研修	WEB
09月01日 11月29日	育成指導者スキルアップ研修起居・移乗コース	但馬長寿の郷
09月03日 12月02日	育成指導者スキルアップ研修ポジショニングコース	但馬長寿の郷
09月06日	介護職種の技能実習生と受入施設職員のためのセミナー	兵庫県社会福祉人材研修センター
10月13日	9か国とZOOMで結ぶ外国人セミナー	オンライン
10月27日	高齢者虐待対応力向上研修	姫路じばさんビル
10月29日～ 12月24日	認知症介護実践者研修	神戸リハビリテーション福祉専門学校
11月05日	但馬地域における介護職の職場定着研修会	但馬長寿の郷
11月08日～ 12月05日	介護福祉実習指導者講習会	兵庫県福祉センター
01月31日	介護技術研修「移乗介助」	但馬長寿の郷

〔施設内勉強会〕

日程	内容	講師
5月、7月 9月、11月 1月、3月	但馬長寿の郷 理学療法士による個別指導 介助技術の指導方法の研修会	但馬長寿の郷PT

06月10日 06月25日 07月27日	基本的介護技術『起居・移乗』	かるべの郷福祉会職員
10月25日 01月13日	シーティングデモ研修	かるべの郷福祉会職員、長寿の郷PT

3．利用実績

〔1日平均利用者数〕 （人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
長期入所者	45.07	46.06	47.60	49.35	48.55	48.27	48.00
短期入所者	11.70	10.48	12.07	12.32	11.32	10.37	11.35
利用者合計	56.77	56.55	59.67	61.68	59.87	58.63	59.35

	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
長期入所者	48.70	46.71	45.71	41.29	46.29	46.84
短期入所者	10.90	9.48	9.81	9.25	9.10	10.68
利用者合計	59.60	56.19	55.52	50.54	55.39	57.52

４．調理部門

当法人では、調理業務を直営で行っており、そのメリットを活かしお客様一人ひとりの状態に応じたきめ細やかな対応を心がけている。また、四季折々の地元産の新鮮な食材を使用した家庭的な美味しい食事の提供に努めている。

令和３年度は、職員一人ひとりがかるべの郷の基本理念に基づき、お客様にとって「食べやすく美味しい食事」、「食べる」ことが生きる喜びや楽しみにつながるように心のこもった家庭的な食事をめざし日々業務に取り組んだ。

また、読書・研修会等に積極的に参加して自己研鑽に励むとともに人間力を高め、一人ひとりがもてる力を発揮し、より良い食事サービスが提供できるように工夫し意欲的に取り組むことができた。

【食事】

①厨房職員おすすめメニュー

月１回昼食時に調理職員が、お客様の嗜好に対する配慮も行いつつこだわりの個性あふれる献立を考え提供した。旬の食材を使用した季節料理や手作りの心こもった料理は、お客様に大好評であった。

②食事に関わる行事への参加

施設内の行事に調理員が積極的に参加し、施設職員の一員として意識を高めることができた。

③大量調理衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理の徹底

食中毒予防、感染症対応においては、迅速、確実に行った。また厨房職員としての責任感をもって自己の健康管理に十分気をつけた。

④食材管理

かるべの郷ドリームワークスが生産した地元産の旬の新鮮な食材を仕入れ活用した。

【栄養管理】

低栄養の予防と栄養改善のために、多職種協働でお客様の身体状況、栄養状態及び嗜好を把握し、適切な栄養管理や評価を行い、個別の栄養ケアを行った。また、「口から美味しく食べること」を継続できるように医師の指示のもと管理を行った。

【給食会議】

・利用者に「美味しく楽しく安全な食事」が提供できるように、献立、行事食、食事形態等の検討など活発な意見交換を行った。

・業務改善委員会、環境整備衛生委員会、献立検討委員会それぞれの委員会で課題をみつけ検討、改善に努めた。

【年間行事食】

月	行　事　内　容	月	行　事　内　容
4月	観桜会（弁当）、誕生日お祝いメニュー 旬菜料理（木の芽和等）	10月	秋祭り、誕生日お祝いメニュー 旬採料理（まつたけご飯）
5月	端午の節句、旬菜料理（ふきご飯等） 誕生日お祝いメニュー	11月	誕生日お祝いメニュー 季節料理
6月	誕生日お祝いメニュー 季節料理（えんどうご飯等）	12月	冬至、誕生日お祝いメニュー クリスマス、大晦日
7月	七夕（素麺）、観音祭、土用（丑の日） 誕生日お祝いメニュー、季節料理	1月	お正月（雑煮、おせち料理） 七草、小豆粥 季節料理、誕生日お祝いメニュー
8月	夏祭り 誕生日お祝いメニュー	2月	節分、鍋パーティー 誕生日お祝いメニュー 季節料理
9月	敬老祝宴 誕生日お祝いメニュー	3月	雛祭り 誕生日お祝いメニュー

令和３年度　かるべの郷デイサービスセンター事業報告

職員全員が「かるべの郷デイサービスセンターがどのように地域に貢献していくことができるのか」そのために「お客様にかるべの郷デイサービスが必要な存在となるためにどうすれば良いか」を念頭に『社是』『社訓』『行動指針』に基づいた行動に努めた。お客様にはかるべの郷デイサービスのご利用に目的をもっていただき、お客様の希望に応じるだけでなく、潜在的なニーズを発見し、職員からお客様へサービスの提案も行った。

１．自分で決めていただく過ごし方。充実した個別プログラムの取り組み

お客様お一人おひとりに、ご利用当日のプログラムを選んでいただく。

選択していただくプログラムは『レッドコード』『フットマッサージ』『マシン』『カラオケ』『調理リハビリ』であり、お客様が「自分は何をして過ごしたいか」自ら選択していただくシステムとした。前年度はホワイトボードに直接貼っていただくようにしていたが、今年度は最近自分の名前も書いたことがないと言われる方も多いことから、ご自分の名前を記入していただき飲み物と選択プログラムに〇をするオーダー表を作成。その用紙に記入していただくシステムに変更。記入が難しく中々選択していただけないお客様には声掛けし職員が傍らにいる事で名前の記入ができ、「今日は〇〇をしようかな」と〇をしていただけるように関わった。

職員が積極的にコミュニケーションを図り、お客様自らメニューを選択し取り組んでいただけるよう、お客様のやりたいことを見つけ意欲を引き出していけるよう関わった。

＊日々のプログラム

9：30	来所・バイタル測定・スケジュール決定	
9：45	入浴（一般浴） （特　浴）	・【選択メニュー】調理リハビリ、機能訓練等 ・個別レク
11：30	集団体操、口腔体操、DAM 体操（カラオケ機器を用いた体操）	
12：00	昼食	
14：00	・【選択メニュー】機能訓練、個別レク等 ・個別レク（手芸、将棋、カラオケ等）	
15：20	喫茶タイム	
15：45	洗濯物たたみ	
16：05	送迎開始	

＊お客様の誕生日に近い利用日にお誕生日のお祝いを行う。

＊2/7 よりカラオケ・調理リハビリ・洗濯物たたみは感染拡大防止のため休止した。

2．介護予防・生活機能向上のためのレクリエーション

介護予防のための脳トレーニングメニューを豊富に準備し、毎日、殆どのお客様が好まれるメニューに取り組まれている。「塗り絵」ではより高度な物に挑戦されるお客様が増えてきた。額に入れフロアの壁に展示し大勢の方に鑑賞していただくようにし、作成されたお客様自身も「飾ってもらっている」と喜んでいただけた。

「今日は計算問題をください」「今日は漢字をしてみるわ」等と取り組むメニューをお客様が自ら求められることが増えた。毎回、個別メニューに取り組まれることで上達され、お客様の要望に応え内容の充実も図った。

塗り絵など個別メニューを提供してもなかなか取り組んでいただけないお客様へ、職員お手製の数字合わせや絵合わせ等の取り組みやすい道具を検討し、お客様へ提供した。

又、リクライニングチェア・フットマッサージャーで、体をほぐしていただきリラックスしていただく場所と時間を設けた。

「調理リハビリ」では、昼食の献立メニューの中から１品をお客様に調理していただいた。手際よく作業をこなされ「とても楽しいです」「昔みたいに自分で料理ができてうれしいです」と感想を言っていただけた。

3．機能訓練について

「体を動かしたい」と希望されるお客様が多いため、レッドコード・マシン・機能訓練指導員によるリハビリとメニューを増やし、１日の中で運動する機会をたくさん持っていただいた。

レッドコードは体を動かしやすくお客様全体の９割の方に参加していただいている。午前中から実施される方も多くなってきた。

機能訓練指導員の理学療法士・作業療法士の対応でお客様に専門的なリハビリを受けてもらう事ができ、職員もお客様の事で疑問に思うことを尋ね聞く事で、安心して関わることが出来た。

4．認知症ケアの専門性向上のための取り組み

認知症をお持ちのお客様が３割以上を占める中で、迎えに行っても「今日は行かない」と利用を拒まれる方や、「まだ準備が出来ていない」と迎え時間に出かけられない方もある。そのようなお客様は時間をおいて再度迎えに行き、利用していただけるよう言葉かけを行った。

来所後に「帰りたい」と落ち着かない方、自分の心の世界に入り独り言をいわれる方等、BPSD（認知症の周辺症状）も多種多様である。お客様が快適に過ごせているか、利用中一日を通して職員が常に気にかけながら、必要に応じて言葉かけを行い、興味を持っていただけそうなメニューを提供するなど安心して過ごせるよう対応している。また、不安な気持ちに

なりやすいタイミングなどを把握するよう努め、可能な限り不安になる前に関わることができるよう対応している。

言葉のかけ方や対応の方法、安心して過ごすことのできる環境面への配慮など認知症ケアへの専門性を高めるため、『ユマニチュード』の目線の合わせ方、身体の触れ方、声のかけ方等を理解し、ユマニチュードケアを活用し気持ちの伝わる認知症ケアの基本を学んだ。

5．職員の資質向上・サービスの向上への取り組み

①職員の資質向上のための取り組み

デイサービス職員全員の考え方の統一を目指し、施設内での研修や勉強会を定期的に開催し、職員全員で意見交換できる場を設けた。

②専門性向上のための取り組み

各職員が知識や技術のレベルを上げ、またサービスへの意識を高めることで、お客様に、より質の高いサービスを提供していけるよう努めた。

③業務の見直し

基本的な業務の統一だけでなく、各職員が実施しているお客様への配慮についても全職員が共有できるよう各業務マニュアルの修正や追加を随時行った。そして、一人ひとりのお客様に対する声のかけ方や対応方法、配慮している点などの統一を図った。

インカムを活用し迅速な情報の共有を行うことが出来た。

緊急時の対応について、どの職員でも対応ができるように勉強会を行った。

④感染症予防の徹底

感染症対策として、手洗い、手指消毒、マスク・フェイスシールドの着用を徹底した。デイサービス内の換気、物品の消毒、送迎車の換気をこまめに行った。お客様にも感染症予防を意識していただくよう手洗い、手指消毒の声掛けを行った。

〔勉強会・研修内容〕

	研　修　名	研修場所
04 月 01 日	全体会議	かるべの郷
04 月 20 日	マナー研修	かるべの郷
05 日 19 日	新型コロナウイルス感染症対策徹底について	かるべの郷
06 月 16 日	社是の理解、現場のへ実践	かるべの郷
07 月 16 日	虐待防止や人権擁護に関する理解 プライバシー保護について	かるべの郷
08 月 18 日	感染拡大予防について	かるべの郷
09 月 19 日	身体拘束廃止の理解	かるべの郷
10 月 20 日	『言葉使い』『認知症ケア』について	かるべの郷
11 月 16 日	避難方法の確認、避難誘導	かるべの郷

11月16日	緊急時の対応について	かるべの郷
11月18日	リハビリテーション研修	但馬長寿の郷
12月16日	介護施設での感染症対策	かるべの郷
1月19日	認知症について（DVDユマニチュードケア）	かるべの郷
2月21日	感染症予防について	かるべの郷

5．利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
通所介護利用者（人）	1,048	994	1,033	1,056	1,010	961
予防通所利用者（人）	115	104	123	134	117	149
介護保険利用者合計（人）	1,163	1,098	1,156	1,190	1,127	1,110
生活介護利用者（人）	0	0	0	0	0	0
利用者合計（人）	1,168	1,098	1,156	1,190	1,127	1,110
平均利用者（人）	44.7	42.2	44.5	44.1	45.1	42.7
稼働日数（日）	26	26	26	27	25	26

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通所介護利用者（人）	1,017	990	914	631	610	983
予防通所利用者（人）	141	134	122	73	71	135
介護保険利用者合計（人）	1,158	1,124	1,036	704	681	1,118
生活介護利用者（人）	0	0	0	0	0	0
利用者合計（人）	1,158	1,124	1,036	704	681	1,118
平均利用者（人）	44.5	43.2	39.8	39.1	35.8	41.4
稼働日数（日）	26	26	26	18	19	27

＊1/25～2/6まで休館。

令和３年度　かるべの郷花笑み倶楽部事業報告

お客様がその人らしく生きがいのある人生を送ることのできる支援を目指し、心身ともに元気に自宅での生活が継続できるよう、お客様の要望に添ったサービスの提供とともに介護予防に努めた。

１．介護予防サービスの充実について

かるべの郷花笑み倶楽部をご利用されているお客様は「友だちとここで顔を合わせて一緒に話して過ごすことが楽しい」「友だちと話をしていると思い切り笑うことができる」と親しい方との交流を楽しみにされている方が多い。お客様に満足していただき休まずに毎回利用していただけるよう、お茶を飲みながらゆっくりと会話ができる時間を毎回提供している。

しかし、楽しんでいただくだけでなく、ADL の維持・向上を目指し、日常の生活動作に繋がる体操メニューを実施し、効果的に身体を動かしていただく機会を持った。積極的にレッドコードに参加していただき、「これは本当に体が動かしやすい。毎回必ずしたいです」と感想をいただけた。フットマッサージャーも積極的に利用していただき、「体が軽くなったようだ」と喜んでいただけた。

本年度は、介護認定の申請に繋がった方が６人、新規利用者様は１人であった。
通所介護へ移行される方が多く、お客様の人数は減少傾向にある。
今後も自宅で閉じこもりがちでいる方が当サービスの利用をきっかけに、外出や気分転換の機会が持てるようになる方が多い。地域の高齢者の方が、一日でも長く自宅での元気な生活が送ることができるよう、今後もサービスをさらに充実させ介護予防に努めていく。

２．利用実績

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
利　用　者　　（人）	20	18	14	16	15	12
一日平均利用者（人）	3.3	3	2.3	2.6	2.5	2
稼　働　日　数（日）	6	6	6	6	6	6

	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
利　用　者　　（人）	14	14	12	6	0	11
一日平均利用者（人）	2.8	2.8	2	1.5	0	1.8
稼　働　日　数（日）	6	6	6	4	0	6

併設のさざんかでクラスター発生のため１月２回、２月は休館とした。

令和３年度　かるべの郷短期入所生活介護事業所事業報告

お客様が住み慣れた地域でその人らしく過ごすことができ、コロナウイルス感染症で面会に制限がある中であっても、お客様やご家族にとって安心できる場所になれるように努めた。また、地域の方々がガーデンリビングを身近に感じていただける事業所であることを目指し、外出や送迎の際に関係づくりに努めた。

１．サービス内容について

・お客様ご自身が選択し、楽しみながら取り組めるような体操や脳活性メニュー、機能訓練などのメニューを準備し、個々に合ったレクリエーションメニューの提供をした。今後も、お客様ご本人やご家族の希望を伺い、個別のサポート方法について職員同士が検討し合い、より選んでいただけるサービスを目指す。
・お客様が中心となり、掃除や洗濯、食事の準備などを実施してもらえるように職員がサポートを行った。今まで慣れ親しんできた役割を継続することで、生き甲斐を持って生活していただけるように関わった。
・お客様やご家族、担当介護支援専門員、主治医等の関係機関と連携を図り、お客様個々に合った適切なケアが統一して行えるよう努めた。
・面会できない期間であっても、気軽にご家族と電話やオンライン面会ができることにより不安なく過ごしていいただけるよう、日ごろから相談し合える信頼関係の構築に努めた。
・緊急ショートステイ専用床として、緊急にご利用希望されるお客様の対応を行った。
・外部行事が行えなかったため、近隣への散歩の機会を多く持ち気分転換を図る機会を作った。

〔その他、行事内容〕

月日	行事内容等
04 月 30 日	クッキング（カップケーキ）
05 月 10 日	消防訓練
06 月 15 日	赤ちゃん先生交流（オンライン）
06 月 16 日	クッキング（カップケーキ）
06 月 22 日	クッキング（そうめん・五目いなりずし）
08 月 06 日	クッキング（かき氷）
09 月 28 日	クッキング（たこ焼き）
10 月 25 日	クッキング（スイートポテト）
11 月 09 日	消防訓練

11月19日	クッキング（鍋）
01月01日	新年祝賀会
01月21日	クッキング（ハンバーグ）

2．職員研修

研修日	研修名	研修場所
07月01日～ 09月29日	介護福祉士実務者研修	かるべの郷
08月25日	女性とシニアが活躍するまちを目指して 養父市×働き方改革ワークショップ	但馬長寿の郷
10月27日	高齢者虐待対応力向上研修	姫路じばさんビル
10月29日～ 12月24日	認知症介護実践者研修	神戸リハビリテーション 福祉専門学校
12月16日	「ひょうごスタイル」に対応した介護技術 研修	但馬長寿の郷
12月20日 21日	ユニットリーダー研修	オンライン

感染症予防、緊急時対応、身体拘束廃止、虐待防止や人権擁護については、定期的に研修を実施

3．利用実績

①〔1日平均利用者数〕 （人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
18.37	18.74	18.00	19.16	19.35	18.70	19.35	19.20	19.10	17.87	18.89	19.23	18.83

②〔月間要介護度別利用者数〕 （人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
要介護1	10	6	7	8	8	9	8	10	10	12	10	10	108
要介護2	14	14	12	13	13	12	12	12	12	10	12	12	148
要介護3	12	13	10	12	11	11	11	10	7	6	8	9	120
要介護4	9	8	10	9	10	10	9	8	7	7	7	8	102
要介護5	1	1	2	2	2	2	3	3	2	3	4	4	29
合　計	46	42	41	44	44	44	44	43	38	38	41	44	509

令和３年度　かるべの郷認知症対応型共同生活介護事業所事業報告

感染症拡大予防のため、外出や帰省、ご家族との面会ができにくい状況が続く中、今まで以上に入居者やご家族の希望に沿い、安心し、満足していただけるようサービスの改善、意欲的に取り組んでいただけるメニューを増やした。

１．サービス内容について

・心身機能の維持向上を１番の課題として機能訓練の充実に取り組んだ。
毎日全員（各ユニットごと）で体操を行うだけでなく、歩行訓練、ゴム体操、ペダル漕ぎ、ボール足裏エクササイズなど入居者一人ひとりに合った体操メニューを準備し毎日取り組んだ。
・お客様が楽しみにされているオンライン面会の対応可能時間を、食事以外の 14 時～21 時までと延長し、平日でも気軽にオンライン面会を実施していただけるようにした。
・これまでクッキングは基本月１回であったが、回数を増やし、内容もスイーツだけでなく、昼食や夕食を一緒に作っていただくようにした。
・豆腐屋をされていたお客様の 100 歳の誕生日に、「豆腐を作りたい」というご希望に応え豆腐作りを行った。お客様がテキパキと手を動かされ、目が活き活きされていた様子が印象的であった。
・ご家族様の「施設内の行事や活動等、ガーデンリビングでの様子を教えて欲しい」というご希望に応じ、毎月通信を発行しご家族様に送付。担当職員から一言メッセージを加え、ご家族様から好評をいただいている。
・感染症拡大予防に努め、毎日消毒を行い、清掃や整頓にも努めた。

〔行事内容〕

	行事内容	クッキング内容
４月	桜の花見	白玉団子、ちらし寿司
５月	避難訓練	豆腐作り、カレー、お好み焼き
６月		ツナとしめじの彩り五目炊き込みご飯 抹茶生地のあんこ巻き
７月	日高高校実習生	餃子の皮でおつまみピザ、ホットプレートオムライス
８月		果物たくさんフルーチェ、里芋入り炊き込みご飯
９月	避難訓練	冷やし中華作り、お月見団子

10月		ケーキ作り、お好み焼き
11月		カレー、餃子
12月		バラ寿司、プリン
1月	（1日）祝賀会	ジャガイモ餅のみたらし
2月		-
3月		ちらし寿司

2．職員の専門性を高める取り組み

・「相手の行動を否定しない」「行動を抑制しない」「まず話しをきく」という姿勢、「職員はお客様をサポートする」という意識が持てるよう徹底した。
・『ユマニチュード』の目線の合わせ方、身体の触れ方、声のかけ方等を理解し、気持ちの伝わる認知症ケアの基本を学んだ。
・認知症をお持ちのお客様への関わり方について、ケース検討を通し、どうすれば安心し自立した生活が送れるかを皆で検討し合い、実践を通して入居者の思いの理解や関わり方の理解を深めた。

3．入居者状況

①〔月間要介護度別入居者数〕 （人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3
要介護2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5
要介護3	4	4	4	4	4	5	5	5	4	3	3	3
要介護4	6	6	6	6	6	6	6	6	8	6	5	5
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2
合計	18	18	18	18	18	18	18	18	19	19	18	18

②〔1日平均入居者数〕

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	18.0	18.0	17.4	18.0	18.0	18.0	17.7	17.4	16.3	17.3	18.0	17.5

令和３年度　介護職員の養成等事業報告

（かるべの郷実務者研修・かるべの郷喀痰吸引等研修）

１．総括

平成１９年に社会福祉士及び介護福祉士法等が一部改正され、介護福祉士の資質向上のため、実務経験で介護福祉士の国家試験を受ける者に対し、介護福祉士実務者研修の受講が必要となった。かるべの郷の職員だけでなく、近隣の法人職員の資格取得とレベルアップのために上記の研修を実施した。

実務者研修では、決められたルーチンケアを実施するだけではなく、お客様を理解し、お客様にとって必要な介護を皆が提供できる介護計画をたてる介護過程について学んでもらい、実務で活かせる研修となるよう工夫した。介護の仕事にやりがいを感じてもらえるよう、介護される体験を取り入れながら、介護福祉士の資格取得を目指してもらった。

社会福祉士及び介護福祉士法の改正に伴い、カリキュラムが変更となるため、変更届を提出し、次年度から新カリキュラムで実施できるよう準備した。

喀痰吸引等研修事業は、第２号研修（不特定の物多数）を実施した。基本研修の修了者が受講され、実地研修（実際のお客様に対し看護師の指導の下定められた医療行為を実施）を行った。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実地研修は感染リスクの高い行為となるため、今年度に終了できず、次年度に継続して研修を実施される方もある。

かるべの郷喀痰吸引等研修の指定期限が令和４年３月１２日までとなっており、更新手続きを行った。

２．受講人数

研修名	定　　員	受講者数	修了者数	備考
かるべの郷実務者研修	15	13	13	
かるべの郷喀痰吸引等研修	10	8	3	５名は次年度に継続

令和３年度　かるべの郷居宅介護支援事業所事業報告

「社是」「行動指針」「社訓」に基づき、住み慣れた家でお客様の生活が安心して継続できることを目標とした。お客様の思いに寄り添いながら、必要な支援がタイミングよく実施できるよう努めた。

登録人数は延べ2725人であった。サービスが休止となり居宅介護支援の契約のみのお客様には、不定期に訪問や電話による状態確認を実施し、状態が変わった時に速やかに対応できるよう心がけた。

毎月、Yタウンで行われている清掃作業に参加し、地域貢献に努めた。

1. マネジメント内容について

・お客様やご家族様が安心して在宅生活を送っていただけるよう毎月モニタリングを実施し、変化に気づくことを意識した。
・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に注意しながら、サービス担当者会議を24件開催し、お客様･ご家族様の思いや環境の情報共有と目標の共通理解に努めた。
・お客様がより良く生活できるよう、医療機関やサービス事業者とこまめに連携をとった。
・独居や高齢者夫婦に対しては、行政や消防等と連携を密にとり、必要時は同行訪問を行い安全に生活していただけるか確認を取り、協力して支援した。
・ターミナルで即時に対応が必要となられたお客様の相談を受け、主治医・サービス事業所と連携して、お客様が住み慣れた家で最期まで在宅生活を送れるよう支援した。
・お客様だけでなく、ご家族様も共に支援することを心がけた。精神疾患をお持ちのご家族様には、障がいの相談支援専門員と連携し、民生委員・病院・警察等とも情報を共有し、在宅生活が継続できるよう支援した。
・必要時主治医へ情報提供を行い、相談等連携をとり、良い関係性を築くことができた。
・昨年度に引き続き、避難行動要支援者の個別計画の作成に取り組み、地域と連携した。

2．介護支援専門員の資質の向上について

・研修会以外でもそれぞれが読書やオンラインでの研修など、自主的に自己研鑽に励んだ。
・新型コロナウイルス感染症感染予防に注意をはらい、自身や家族の健康管理に努めた。
・お客様の情報共有や気になることを相談し、担当ケアマネジャーが不在でも、他の職員が速やかに対応できるよう努めた。
・事例検討会を定期的に開催し、支援を振り返り、自己覚知に努めた。

令和３度　研修内容

日時	研修名	場所	出席
09 月 19 日	自分のための「終活」と大切な方への「終活サポート」	オンライン	1 名
01 月 19 日	「法的根拠に基づくケアマネジメント」後藤佳苗氏	市内	5 名
03 月 04 日	養父市虐待防止研修会	市内	1 名
03 月 12 日	但馬地域医療連携シンポジウム	オンライン	2 名

【会議】

日時	会議名	場所	出席
04 月 01 日	かるべの郷全体会議	かるべの郷	6 名
07 月 12 日	但馬圏域入退院支援運用ガイドラインにかかるメンテナンス会議	オンライン	1 名
08 月 17 日	養父市認知症ネットワーク会議・初期集中支援検討委員会	市内	1 名
09 月 17 日	公立八鹿病院と市内ケアマネジャーとの懇談会	市内	2 名
10 月 07 日	養父市介護保険運営協議会	市内	1 名
10 月 26 日	自立支援型地域ケア個別会議	市内	1 名
11 月 17 日	地域ケア個別会議	市内	2 名
11 月 19 日	ケアマネジャー連絡会	市内	5 名
03 月 16 日	地域ケア個別会議	市内	1 名
03 月 23 日	ケアマネジャー連絡会	市内	5 名

３．給付管理を行った利用者数の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
予防	44	40	39	40	38	39	40	40	40	41	40	42	482
介護	173	168	176	176	174	170	175	177	179	168	169	172	2077
合計	216	208	215	216	212	209	215	217	219	209	209	214	2559
新規	8	3	4	4	2	4	7	6	4	3	2	2	49
終了	7	2	2	6	5	3	3	4	4	3	4	7	50
利用なし	10	15	9	9	13	16	9	9	14	24	24	14	166

４．介護度別利用者延べ人数

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
人数 (%)	200 (7.8)	282 (11.0)	830 (32.4)	493 (19.3)	414 (16.2)	223 (8.7)	117 (4.6)	2,559 (100)

令和３年度　高齢者相談センターやぶ事業報告書

事業名　　高齢者相談センターやぶ

事業実施場所　養父市上箇 153-1　Ｙタウン『KARUBE・TREE×TREE』

事業期間　　令和２年４月１日　から　令和３年３月 31 日

事業内容　養父市地域包括支援センターの一部委託

（１）総合相談支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、初期段階での相談対応を行い、必要時速やかに申請手続きを実施し、ご本人・ご家族の選択に基づき公正中立に指定居宅介護支援事業所への紹介を行った。

Ｙタウンと言う利便性の高い場所に相談センターがあること、土日祝日でも開いていることから、他地域を含めた相談がある。その都度親切丁寧に対応し、その後担当地域の相談センターに引き継いでいる。

小規模多機能型居宅介護事業所Beneの運営推進会議に市の依頼を受け出席した。

（２）権利擁護業務

消費者相談センターから気になる方の情報提供をいただき、市と連携した。

（３）ケアマネジメント業務

要支援状態の軽減もしくは悪化の防止に努め、お一人お一人が生きがいのある生活を送ることができるよう、適切なサービスのケアマネジメントが行えるよう努めた。

（４）介護保険サービス支援

適切に住宅改修や福祉用具の購入ができるよう、長寿の郷の派遣等専門職と相談等行い、支援した。

（５）その他

委託業務は今年度までであったため、更新にあたり新規に法人の募集があり、再度応募した。プレゼンテーションの結果、次年度から３年間養父地域・八鹿地域は社会福祉法人かるべの郷福祉会が受託することとなった。

実施内容

	（1）総合相談支援業務			
	新規相談	継続相談	介護認定申請	居宅引継ぎ
4月	16	191	12	7
5月	11	99	8	6
6月	13	139	6	4
7月	9	185	8	4
8月	13	221	15	10
9月	9	198	9	4
１０月	6	200	8	5
１１月	4	162	3	8
１２月	7	125	11	6
1月	10	116	6	9
2月	8	128	9	1
3月	18	148	7	1
合　計	124	1912	102	65

	（3）ケアマネジメント業務					（4）介護保険サービス支援	
	予防受託	予防委託	相談件数	サービス担当者会議	カンファレンス	住宅改修	福祉用具購入
4月	23	95	98			3	2
5月	23	93	123			1	
6月	24	88	111			1	2
7月	25	86	85			1	
8月	26	83	110				
9月	27	83	115			1	
１０月	29	85	104		1	3	
１１月	32	84	121			2	3
１２月	29	83	109	2		1	
1月	27	84	84				1
2月	24	81	58			1	
3月	27	84	108				
合　計	316	1029	1226	2	1	14	8

＊新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、サービス担当者会議・カンファレンスは開催されないことが多かった。

令和３年度　高齢者相談センターようか事業報告書

事業名　　高齢者相談センターようか

事業実施場所　養父市八鹿町八鹿 1576

事業期間　　令和２年４月１日　から　令和３年３月 31 日

事業内容　養父市地域包括支援センターの一部委託

（１）総合相談支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、初期段階での相談対応を行い、必要時速やかに申請手続きを実施し、ご本人・ご家族の選択に基づき公正中立に指定居宅介護支援事業所への紹介を行った。

八鹿地域は養父市の人口の４割を占めるが、相談件数も他地域より多く、相談センター４地域合計件数の３割程度（新規相談）、５割程度（継続相談）を占める。

小規模多機能型居宅介護事業所 Bene・小規模多機能型居宅介護はちぶせの里ようかの運営推進会議に市の依頼を受け出席した。

（２）権利擁護業務

消費者相談センターから気になる方の情報提供をいただき、市と連携した。

（３）ケアマネジメント業務

要支援状態の軽減もしくは悪化の防止に努め、お一人お一人が生きがいのある生活を送ることができるよう、適切なサービスのケアマネジメントが行えるよう努めた。介護サービス以外のインフォーマルな資源や社会的処方も意識した。

（４）介護保険サービス支援

適切に住宅改修や福祉用具の購入ができるよう、長寿の郷の派遣等専門職と相談等行い、支援した。

（５）その他

委託業務は今年度までであったため、更新にあたり新規に法人の募集があり、再度応募した。プレゼンテーションの結果、次年度から３年間養父地域・八鹿地域は社会福祉法人かるべの郷福祉会が受託することとなった。

実施内容

	（1）総合相談支援業務			
	新規相談	継続相談	介護認定申請	居宅引継ぎ
4月	7	299	8	2
5月	10	313	7	14
6月	9	317	6	8
7月	5	240	9	8
8月	18	405	17	10
9月	14	412	11	11
１０月	16	382	16	12
１１月	8	410	18	16
１２月	10	370	8	12
1月	16	356	9	5
2月	4	283	13	12
3月	21	406	18	9
合　計	148	4193	130	119

	（3）ケアマネジメント業務					（4）介護保険サービス支援	
	予防受託	予防委託	相談件数	サービス担当者会議	カンファレンス	住宅改修	福祉用具購入
4月	28	108	186			1	3
5月	26	104	92	1			1
6月	26	110	159	1		1	
7月	28	109	128	1		1	
8月	30	108	159			3	
9月	31	110	151			2	1
１０月	31	115	199	3		2	2
１１月	30	119	207				3
１２月	27	120	97	1	1	1	2
1月	27	118	128	1	1	1	1
2月	27	119	106				1
3月	29	121	133				
合　計	340	1361	1745	8	2	12	14

＊新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、サービス担当者会議・カンファレンスは開催されないことが多かった。

令和３年度　相談センターpolaris事業報告書

事業名　　養父市ひきこもり相談支援センター（相談センターpolaris）

事業実施場所　養父市八鹿町八鹿1576

事業期間　　令和３年４月１日　から　令和４年３月31日

事業内容　養父市ひきこもり相談支援センターの設置・運営業務

（１）居場所の開設（週５日）

月曜日から金曜日の週５日開設している。５月から、定期的に居場所を利用される方があり、実人数３名、延べ人数14回の利用があった。新型コロナウイルス感染症の影響により、１月末より居場所を休止した。次年度より再開予定である。居場所にこだわることなく、別の場所（趣味の会や障害サービス）を紹介しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により参加が難しくなっている点もある。

（２）電話・来所相談への対応、訪問による相談

センター開設前からの相談もあり、それ以外にも電話や来所、メールによる相談を受け、本人と家族の負担にならない程度の訪問も適宜行っている。関係者や周りからの相談があっても、本人や家族から訪問を断られることがある。

（３）家族・本人への支援

現在は、主に家族からの相談を受けることが多く、本人に会える状態になるまでに時間を要する。家族の話を聞くことで、本人の行動が変容し、趣味の会に参加できるようになられたこともあった。訪問では本人のお好きなことを確認し、それに関しての話題を提供するなど、本人との関係づくりに努めている。

精神障害や発達障害をお持ちの方、もしくはそれが疑われる方もあり、専門性が重要であると思われる。

（４）市の開催する学習会、家族会等への協力

新型コロナウイルス感染症感染予防のため学習会の開催は無かったが、健康課との連携を図っている。

（５）関係機関と連携し、進学・就労等の支援

養父市健康課や生活困窮の窓口との連携以外にも、県のひきこもり相談支援センター但馬ブランチである、ドーナツの会とも連携している。また、相談の際に家族が介護保険を利用されているケースに関して、ケアマネジャーからの相談を受けることも多い。

専門学校中退後引きこもりがちになっていた方の相談を母から受けていたが、最近就労することが出来たと聞いた。職場内の人間関係のトラブルで退職された方で

母から相談のあった方も、無事復職することができた。

現在居場所を利用中の男性も運転免許の取得を目指して頑張っておられる。

母（長年受診されておらず健康課の訪問で介護が必要と分かった方）の介護相談を受けている際に、同居の息子さん２人が離職されていることが分かり、生活困窮の相談員と連携し、失業手当の手続き、療育手帳の取得について協力した。

（6）関係機関とのネットワーク会議の開催（年２回以上）

養父市健康課・社会福祉課・生活困窮窓口・地域包括支援センター・学校教育課、朝来健康福祉事務所、養父市社会福祉協議会、兵庫ひきこもり相談支援センター但馬地域ブランチドーナツの会と、各関係機関の取り組みについて情報共有を行い、今後の情報共有の在り方について協議を年２回行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響もあり、10/29 に開催したが、２月の開催は出来なかった。

実際の支援に関して情報共有と方向性・今後のリスクの確認の場としての個別支援会議を 7/30 に開催した。8050 問題の家庭であったが、親の入所に伴い独居となられた事例であり、情報共有と支援の方向性について検討できた。

不登校からひきこもりとなる方も多く、教育委員会との連携は重要性であり、昨年度に引き続き 3/28 に健康課・社会福祉課と共に、不登校生徒のいる学校、第一学院にも参加いただき、令和３年度及び令和２年度の卒業生の現状について情報共有を行い、今後のネットワークの構築について相談できた。

（7）事業目的のための啓発活動

6/24 に養父市人権学びステーションで「8050 問題」について説明の機会をいただいた。そこで話を聴かれた方からの相談もあった。

1/12 に養父市養父地域民生委員児童委員協議会連合会にて「ひきこもり及び 8050 問題」について説明の機会をいただいた。地域で気になる方の相談場所について周知することができた。

（8）その他

丹波市の自立支援課から、支援会議や連携会議の在り方について問い合わせがあり対応した。

厳密には「ひきこもり」状態ではないが、生きづらさを抱えているが他に相談する場所もないといった方の相談を受けることが増えてきた。

実施内容　相談件数の推移と対象者

	新規（人）	継続（人）	電話（件）	来所（件）	訪問（件）	その他(件)	居場所利用
４月		3	7			5	
５月		2	2	1		1	1
６月	1	5	9	1		3	
７月		6	4	2		4	1
８月		5	5	1	8	3	1
９月		6	2	1	3	1	1
１０月		4	1	1	5	2	1
１１月		3	2	1	1	1	1
１２月	3	7	2	3	4	10	4
１月		3		1	1	4	4
２月		2				3	
３月	2	5	6	1	2	18	
合計	6	33	40	13	24	55	14

段階	ひきこもりの開始時期	人数
1	小学校から不登校	
2	中学校から不登校	7
3	高校不登校から休学・退学	1
4	大学不登校から休学・退学	1
5	職場離脱	6
6	中学卒業後	1
7	高校卒業後	4
8	その他	9
9	不明	3

年齢層	男性	女性	不明
～18 歳	1		1
19 歳～39 歳	9	10	
40 歳～49 歳	4	1	
50 歳～64 歳	4	2	
65 歳以上			
不明			

八鹿	17	養父	7	関宮	5	大屋	3

令和３年度　かるべの郷ホームヘルパーステーション事業報告

「社是」「行動指針」「社訓」に基づき、法令を遵守しながら、お客様のお気持ちに寄り添えるサービスの提供に努めた。

お客様の健康や尊厳を大切にしながら、本来お持ちの力を活用し、ご自宅で自立した生活が継続出来るように関わった。

１．サービス内容について

・訪問時、お客様の心身の状況を把握し、変化や気になる点等を速やかに担当ケアマネジャー、相談支援専門員、医療関係者等に情報提供し、状況に応じたサービスが提供出来る様に努めた。

・法令を遵守し、ヘルパーとして出来る事、出来ないことを明確にし、責任を持ったケアの提供に努めた。

・コロナ感染症対策として手洗い、マスクの交換、消毒を細やかに行い、お客様が安心して訪問を受け入れてくださるように関わった。

２．資質の向上について

・職員会議や日々のミーティングで自分達の支援方法について話し合い、改善に努めた。

・職員一人一人が話し合える、風通しのよい職場づくりを心掛けた。

【研修会】

日付	研修名	場所	人数
04 月 01 日	かるべの郷の運営方針について	かるべの郷	5
04 月 28 日	法令遵守について	ヘルパー事務所	9
05 月 26 日	職業倫理について	ヘルパー事務所	9
06 月 25 日	虐待について	ヘルパー事務所	9
07 月 23 日	BPSD について	ヘルパー事務所	9
08 月 27 日	記録について	ヘルパー事務所	9
09 月 22 日	障害者虐待対応力向上研修	姫路労働会館	1
09 月 27 日	生活援助について	ヘルパー事務所	9
10 月 22 日	事故発生時の対応について	ヘルパー事務所	9
11 月 18 日	口腔ケアと食事介助	日高文化体育館	1
11 月 26 日	感染症について	ヘルパー事務所	9
12 月 31 日	精神疾患について	ヘルパー事務所	9
01 月 31 日	コロナ対策について	ヘルパー事務所	9
02 月 28 日	苦情について	ヘルパー事務所	9
03 月 31 日	ストレス解消について	ヘルパー事務所	9

3．令和３年度利用実績

月	介　護			予防・総合			障　が　い				合　計	加算	
	身体	身体生活	生活	訪問型（養父）	訪問型（朝来）	生活機能向上	身体	家事	同行援護	移動支援		初回	緊急
4	255.5	198.0	5.0	36.0	5.0	6.0	23.0	70.5	3.5	4.5	607.0	3	
5	249.5	153.0	12.0	31.0		5.0	26.5	52.0		3.0	532.0	1	4
6	256.5	169.5	2.0	32.0	6.0	5.0	45.0	58.5	3.5	1.5	579.5	3	1
7	266.5	187.5	4.0	28.0	12.0	5.0	40.0	63.0		5.0	608.0	4	1
8	264.5	170.5	4.0	29.0	18.0	5.0	31.0	63.0	6.0	4.5	586.5	2	
9	280.5	174.5	5.0	25.0	9.0	7.0	35.0	53.5	3.0	4.5	597.0		
10	307.0	171.5	4.0	30.0	8.0	9.0	32.5	61.0	10.0	4.3	637.3	5	1
11	307.0	157.5	4.0	38.0	9.0	8.0	33.5	55.0	9.0	3.5	629.5	6	1
12	336.0	143.0	5.0	34.0	9.0	3.0	35.0	56.5	7.0	5.8	634.3	7	3
1	370.5	171.5	4.0	26.0	9.0	3.0	35.0	58.0		3.0	680.0	4	
2	337.5	156.0	4.0	24.0	8.0	3.0	32.0	57.5	3.5	2.0	627.5	3	
3	373.5	177.0	5.0	19.0	7.0	3.0	33.0	69.5		4.0	691.0	5	
計	3604.5	2029.5	58.0	352.0	100.0	62.0	401.5	718.0	45.5	45.6	7409.6	43	11

（時間数：加算は回数）

令和３年度終了者 32 件（施設入所７件・死亡５件・中止等 20 件）

５月にお客様が新型コロナウイルス感染症を発症され、訪問したヘルパー２名が濃厚接触者となった。それ以外のヘルパーは PCR で陰性を確認後就業したが、陰性が確認できるまで２日間営業を休止した。

4．要介護度別・障がい区分別利用者数他

介　護	事業対象者	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合　計
実人数	25	45	40	149	190	119	68	38	674
延件数	62	245	200	1517	1801	1863	740	179	6607

居宅介護	障がい児	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	合　計
実人数	1	8	65	56	10		11	151
延件数	2	28	245	337	243		97	952
同行援護	障がい児	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	合　計
実人数					8			8
延件数					13			13

令和３年度　かるべの郷ドリームワークス事業報告

１．事業について

「社是」「社訓」「行動指針」に基づき、お客様、ご家族様、地域の皆様に喜んでいただけるサービスの提供に取り組んだ。

ひとりひとりのニーズに合わせ、お客様にとってやりがいのある仕事の場、望む生活に向けて挑戦ができる場、安らげる憩いの場をいかに創っていくかを考え、安心して通所ができる事業所であるように努めた。また、お客様が地域とつながりながら社会生活をスムーズに行えるように支援してきた。

２．作業内容について

お客様のニーズや強みに合ったやりがいのある仕事を提供するように務めた。

外注作業では前年度に引き続き（株）ハピネス、住環境システム協同組合、（株）樽正本店、（株）羽倉、ル・フルーヴに加え、やぶ市民交流広場の清掃作業が増えた。また、養蚕業の復活を目指す養父市養蚕プロジェクトに参加し、桑の木の植樹や蚕の試し飼育をすることができた。作業の幅を広げたことにより、お客様の仕事に対するやりがいに繋がった。

３か月に１回評価を行い、お客様の意欲の向上に努めた。

令和３年度作業内容

分類	内容	時期等
法人内	洗車・窓ふき・清掃(厨房等)、草取り	通年
地域貢献	地域清掃	通年
養父市	やぶ市民交流広場清掃・保健センター清掃	適宜
寺院関係	除草作業、墓地清掃作業	適宜
農業	露地野菜・椎茸・山椒・盆花・ハスの花・葉牡丹・肥料づくり等	適宜
販売	ドリームマルシェ　フルーツの里やぶ　その他外部	通年
外部	(株)西村公益社（清掃)、除草作業（公共施設、個人宅等３か所) 墓地清掃（個人宅２か所）　清掃作業（個人宅１か所) (株)樽正本店養父工房(果物カット等の下処理作業、工場内作業) 養父町開発（株）（Ｙタウン除草作業) 住環境システム協同組合(レタスの水耕栽培の補助作業、山椒の収穫他)	適宜 通年
内職	(株)羽倉（ランドセル)・(株)ハピネス（腰ひも・草履清掃等) (株)西村公益社(寺かき物)・ル・フルーブ(箱折り、シール貼り)	通年
自主作品	雑貨づくり(木工細工等)	通年

3．活動について

今年度は、1 名のお客様が一般就労をされた。相談支援事業所やハローワーク、障害者就業・生活支援センターと連携を図り、就労面接に関する支援を行ってきた。

今年度も感染予防等の知識を持って頂けるように、新型コロナウイルス感染予防講習会の開催やコロナワクチン接種の相談や支援を行った。

前年度までは毎月誕生日会を行ってきたが、働きたいというお客様からの要望も多く、今年度から誕生日会はせず、色紙に職員が寄せ書きしお渡しした。

令和３年度年間行事

月	内　容	月	内　容
4 月	9 周年記念	10 月	市民ドッグ
5 月	誕生会・消防訓練	11 月	消防訓練
6 月	なし	12 月	なし
7 月	期日前投票	1 月	初詣・十日えびす
8 月	なし	2 月	バレンタインデー
9 月	なし	3 月	ひな祭り

4．職員の資質向上について

人間力を高め「社是」「社訓」「行動指針」に基づいた対応ができるように、月ごとに目標を立て職員一人ひとりが行動を振り返り改善できるように努めた。

5．環境整備について

今年度はドリームワークスの建物の改修を行い耐震補強と改修工事を行った。これまで 2 階のみだった作業スペースを 1 階にも設け、お客様のお体の状態を問わず安心して作業に参加していただける環境を整えると共に作業スペースの拡充や分散を行う事で新型コロナウイルス等感染症の流行下においても安全に利用ができるように調整を行った。また相談スペースを各階に増設し、お客様が困りごとや悩みごとがある際には気軽に相談ができる環境作りを行った。

6．利用人数について

今年度は医療機関や福祉事務所、相談支援事業所からの紹介を受け、新しく利用される方は5名だった。しかし、体調不良や家庭の事情で利用が終了した方が 5 名おられた。
年間通して入院された方や体調不良で休まれた方が 6 名おられ実績は減少している。

平均利用人数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
稼働日数	22	21	22	22	22	22	21	22	22	21	20	23	260
利用者数	1,120	1,057	1,117	1,100	1,093	1,074	1,038	1,123	1,078	988	924	1,068	12,780
1日平均	50.90	50.33	50.77	50.00	49.68	48.81	49.42	51.04	49.00	47.04	46.20	46.43	49.15

令和３年度　かるべの郷ドリーム相談所事業報告

『社是』『行動指針』『社訓』を遵守できるように業務を遂行し、お客様が安心して地域で暮らしていくことができるよう、体調や生活状況等を確認、必要に応じて関係機関とも連携を図りながら、親切・丁寧・迅速な対応に努めた。

令和３年度は計画相談 110 名、障がい児相談 19 名、委託相談 38 名の依頼を受け、計 775 件(内訳　計画相談　580 件、障がい児相談　61 件、地域移行支援　33 件、地域定着支援　101 件)の給付管理を行った。

１．マネジメント内容について

今年度もお客様の生活状況や環境に合わせて関係機関と相談しながらモニタリング頻度を設定し、サービスの利用状況や調整が必要となるところがないか等を確認できるようにした。また、モニタリングでお客様やご家族様の思いを聞き再アセスメントすることによって、よりよいサービスの提供に繋げられるように努めた。

更に、障がい福祉サービスの利用を考えておられるお客様だけでなく、現在は利用を考えておられない方であっても今後サービスの利用が必要ではないかと思われる方に対して、委託相談として相談支援を行ってきた。

一般相談支援の地域移行支援は令和３年度中に７名利用されたが、その内１名が退院することができた。

２．相談支援専門員の資質の向上について

『社是』『社訓』『行動指針』に基づいた行動を心がけ、積極的に施設内外の研修に参加する他、職員同士で研鑽し、人間力を高めることができるように努めた。毎月開催される但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会議に加えて、今年度から新たに養父市内の相談支援専門員が集まる「やぶばた会議」に参加し、市・相談支援事業所・健康福祉事務所との情報交換やケース検討を行いながら、スキルアップに努めた。更に、精神科病院の長期入院患者の退院促進を行う為に開催する精神障害者地域移行・地域定着戦略会議にも参加した。健康福祉事務所と但馬の精神科病院の相談員や看護師長との情報交換・共有ができ、今年度も但馬全体の地域移行支援に携わることができた。退院された方や地域で生活されている方の多くが但馬病院への通院や訪問看護を利用されていることもあり、必要時に適宜医療機関と情報交換を行うことで連携を深め、より良い支援につなげた。

養父市自立支援協議会では全体会、運営会議の構成員として運営や地域の実情に応じた体制の整備について協議した。今年度もしごと部会、まちづくり部会と二つの部会に所属し、それぞれの地域課題を把握し、誰もが住みよい街づくりに繋げられるように検討してきた。

前年度に続き、相談支援従事者に受講が義務づけられている兵庫県相談支援従事者初任者研修・兵庫県相談支援従事者現任者研修のファシリテーターを努め、県下の相談支援専門員の養成や資質の向上に寄与した。

また厚生労働省主催の令和３年度相談支援従事者指導者養成研修に参加し相談支援専門員の養成技術の取得に努めた。

また、来年度から兵庫県相談支援従事者現任者研修企画構成員となる事から、今年度より兵庫県相談支援従事者現任者研修企画会議に参加している。

また、県の開催としては初となる令和２年度兵庫県主任相談支援専門員養成研修(新型コロナウイルスの影響で令和３年開催)を修了し、主任相談支援専門員となった。事業所に配置される他、養父市基幹相談支援センターとの連携、養父市内の相談支援専門員への助言や資質の向上を目的とした研修の企画、但馬圏域の主任相談支援専門員連絡会議での情報交換を行っている。

【会議】

実施日	会議名	場所
04 月 07 日	第 1 回　精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	豊岡職員福利センター
04 月 09 日	第 1 回　やぶばた会議	オンライン開催
04 月 21 日	第 5 回　養父市自立支援協議会しごと部会	養父市社会福祉協議会
04 月 28 日	第 5 回　養父市自立支援協議会まちづくり部会	養父市社会福祉協議会
05 月 12 日	第 2 回　精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	豊岡職員福利センター
05 月 18 日	第 2 回　やぶばた会議	オンライン開催
05 月 21 日	第 1 回　但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	オンライン開催
06 月 02 日	第 3 回　精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	豊岡職員福利センター
06 月 11 日	第 3 回　やぶばた会議	オンライン開催
06 月 18 日	第 2 回　但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	オンライン開催
06 月 24 日	第 7 回　養父市自立支援協議会しごと部会	養父市社会福祉協議会
07 月 05 日	第 1 回　養父市自立支援協議会運営会議	養父市役所
07 月 07 日	第 4 回　精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
07 月 09 日	第 4 回　やぶばた会議	養父市役所
07 月 13 日	第 1 回　精神障害者地域移行・地域定着推進協議会	養父土木事務所
07 月 15 日	第 8 回　養父市自立支援協議会しごと部会	養父市社会福祉協議会
07 月 16 日	第 3 回　但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	養父市八鹿文化会館
07 月 21 日	第 1 回　精神障害者地域移行・地域定着推進協議会	但馬長寿の郷
07 月 28 日	第 8 回　養父市自立支援協議会まちづくり部会	養父市社会福祉協議会
08 月 04 日	第 5 回　精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
08 月 10 日	第 5 回　やぶばた会議	養父市社会福祉協議会
08 月 18 日	第 9 回　養父市自立支援協議会しごと部会	養父市社会福祉協議会
08 月 20 日	第 4 回　但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	豊岡総合庁舎

08月25日	第9回　養父市自立支援協議会まちづくり部会	養父市社会福祉協議会
08月25日	令和3年度但馬地区精神保健福祉研修会実行委員会	豊岡職員福利センター
09月01日	第6回　精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
09月09日	第6回　やぶばた会議	養父市役所
09月17日	第10回　養父市自立支援協議会しごと部会	養父市社会福祉協議会
09月18日	第5回　但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	豊岡総合庁舎
09月27日	令和3年度　第1回但馬地域就労支援つなぎの検討会議	豊岡職員福利センター
09月29日	第10回　養父市自立支援協議まちづくり部会	養父市社会福祉協議会
10月06日	第7回　精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
10月08日	第7回　やぶばた会議	養父市社会福祉協議会
10月16日	第6回　但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	豊岡総合庁舎
10月20日	第11回 養父市自立支援協議会しごと部会	養父市社会福祉協議会
10月27日	第11回 養父市自立支援協議会まちづくり部会	養父市社会福祉協議会
11月02日	令和3年度　第3回兵庫県相談支援従事者現任研修打ち合わせ会	オンライン開催
11月05日	令和3年度　第1回但馬圏域主任相談支援専門員連絡会	オンライン開催
11月10日	第8回　精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
11月11日	第8回　やぶばた会議	養父市社会福祉協議会
11月16日	つながりの会(まちづくり部会・情報発信グループ)	養父市民交流広場
11月17日	第12回　養父市自立支援協議会しごと部会	養父市社会福祉協議会
11月22日	第7回　但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	豊岡総合庁舎
11月24日	第12回　養父市自立支援協議会まちづくり部会	養父市社会福祉協議会
11月29日	令和3年度　第4回兵庫県相談支援従事者現任研修打ち合わせ会	オンライン開催
12月01日	第9回　精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
12月10日	第9回　やぶばた会議	養父市社会福祉協議会
12月15日	第13回　養父市自立支援協議会しごと部会	養父公民館
12月17日	令和3年度　第7回兵庫県相談支援従事者現任研修打ち合わせ会	オンライン開催
12月18日	第8回　但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	豊岡総合庁舎
12月22日	第13回　養父市自立支援協議会まちづくり部会	養父市社会福祉協議会
01月06日	第10回　精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
01月07日	令和3年度　第8回兵庫県相談支援従事者現任研修打ち合わせ会	オンライン開催
01月12日	令和3年度　第9回兵庫県相談支援従事者現任研修打ち合わせ会	オンライン開催
01月14日	第　やぶばた会議	養父市役所

01月17日	令和3年度　兵庫県相談支援従事者研修現任研修 講師・ファシリテーター全体打ち合わせ会	オンライン開催
01月19日	第14回 養父市自立支援協議会しごと部会	養父公民館
01月22日	第9回　但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	オンライン開催
02月01日	令和3年度　第9回兵庫県相談支援従事者現任研修打ち合わせ会	オンライン開催
02月02日	第11回　精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
02月09日	第11回　やぶばた会議	オンライン開催
02月16日	第15回　養父市自立支援協議会しごと部会	養父公民館
02月18日	第10回　但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会	オンライン開催
02月24日	第15回　養父市自立支援協議会まちづくり部会	養父市社会福祉協議会
02月28日	養父市自立支援協議会運営会議	養父市役所
03月01日	第2回　精神障害者地域移行・地域定着推進協議会	但馬長寿の郷
03月02日	第12回　精神障害者地域移行・地域定着戦略会議	養父市社会福祉協議会
03月11日	第12回　やぶばた会議	オンライン開催

【研修】

実施日	研修名	場所
05月20日	令和3年度　但馬圏域精神障害者ピアサポーター研修事業（基礎研修）	豊岡地区コミュニケーションセンター
05月21日	令和3年度　但馬圏域精神障害者ピアサポーター研修事業（基礎研修）	豊岡地区コミュニケーションセンター
06月11日	令和2年度　主任相談支援専門員養成研修	オンライン開催
06月12日	令和2年度　主任相談支援専門員養成研修	オンライン開催
06月13日	令和2年度　主任相談支援専門員養成研修	オンライン開催
06月16日	令和3年度　但馬圏域精神障害者ピアサポーター研修事業（専門研修）	豊岡市役所立野庁舎
06月17日	令和3年度　但馬圏域精神障害者ピアサポーター研修事業（専門研修）	豊岡市役所立野庁舎
06月26日	令和2年度　主任相談支援専門員養成研修	オンライン開催
06月27日	令和2年度　主任相談支援専門員養成研修	オンライン開催
08月18日	但馬圏域新型コロナウイルス感染症対策研修会	オンライン開催
09月15日	令和3年度　相談支援従事者指導者養成研修(国研修)	オンライン開催
09月16日	令和3年度　相談支援従事者指導者養成研修(国研修)	オンライン開催
09月17日	令和3年度　相談支援従事者指導者養成研修(国研修)	オンライン開催
10月11日	令和3年度　医療的ケア児等支援者養成研修	オンライン開催
10月12日	令和3年度　医療的ケア児等支援者養成研修	オンライン開催

12 月 02 日	令和 3 年度　障害者虐待対応力向上研修　C 研修	兵庫県立姫路労働会館
12 月 08 日	兵庫県障害者相談支援体制充実強化事業専門コース別研修	オンライン開催
12 月 13 日	令和 3 年度　医療的ケア児等コーディネーター養成研修	オンライン開催
12 月 14 日	令和 3 年度　医療的ケア児等コーディネーター養成研修	オンライン開催
12 月 16 日	令和 3 年度　医療的ケア児等コーディネーター養成研修	オンライン開催
01 月 12 日	令和 3 年度　但馬地区精神保健福祉研修会	新温泉町文化体育館
02 月 10 日	令和 3 年度　兵庫県相談支援従事者現任研修	オンライン開催
02 月 17 日	令和 3 年度　精神障害者ピアサポート研修事業	兵庫県立但馬文教府
03 月 09 日	令和 3 年度　但馬地区こころの病家族教室	豊岡市役所立野庁舎
03 月 09 日	令和 3 年度　相談支援従事者現任研修	オンライン開催
03 月 10 日	令和 3 年度　相談支援従事者現任研修	オンライン開催
03 月 11 日	令和 3 年度　相談支援従事者現任研修	オンライン開催

3．ピアサポーターの活動について

今年度も豊岡・朝来健康福祉事務所、生活支援センターほおずき、ぷろじぇくと Plus と共同してピアサポーターの養成を行った。前年度に比べて面接希望者が減少したが、1 名の雇用に繋がった。

全国に先駆け、但馬圏域精神障害者ピアサポート研修（基礎研修・応用研修）（令和 3 年度より新設されたピアサポート体制加算に対応した国が定めるもの）が開催され、相談支援専門員とピアサポーター5 名で受講した。

今年度も兵庫県の委託を受け『兵庫県精神障害者地域移行推進事業』にも取り組んだ。地域移行支援を利用されていない入院中の方を対象に、院内説明会、動機づけ面接や業所体験を行う退院支援プログラムが内容となる。

【院内説明会】

毎年但馬病院で開催しており、自由参加型で月ごとに各病棟を交互に回っている。退院意欲の喚起や維持のために、退院前の準備や退院後の生活等について、参加された方が聞きたい話を主として質疑応答を行った。また、タブレットを活用して養護老人ホームやグループホーム、就労継続支援 B 型事業所を紹介し、オンラインを活用してリモートで開催する等、コロナ渦でも入院患者に対して必要な情報が提供できるように努めた。

今年度は合計 47 名の方が参加され、うち 6 名が退院された。

【講演会・啓発活動】

但馬圏内の高校の養護教諭や学生、民生委員児童委員に対し、ピアサポーター自身の病気の体験やリカバリーストーリー、地域生活の実情等の啓発活動を行った。

【地域住民、支援者等への研修会】

実施日	講演名
08 月 31 日	高等学校におけるピアサポーターを活用した精神保健教育についての講演会
11 月 12 日	八鹿町民生委員児童委員協議会 11 月定例会（講演会）
12 月 15 日	ピアサポーターによる高校生のための保健講座（講演会）
12 月 16 日	朝来町民生委員児童委員協議会 12 月定例会（講演会）
12 月 17 日	山東町民生委員児童委員協議会 12 月定例会（講演会）

【個別支援】

ピアサポーターと一緒に、地域移行支援を契約したお客様に退院支援を実施した。担当のピアサポーターが入院されているお客様に週 1 回訪問し、福祉サービスの見学や外出支援等の必要なサービスを一緒に考え、相談しながら退院に向けて具体的な準備を行った。

今年度は 4 名の方と関わったが、年度内の退院者はおられなかった。

4．給付管理を行った件数

（件）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
計画相談	54	39	53	53	43	52	48	49	45	44	49	51	580
障がい児	8	3	6	4	5	6	5	3	6	7	2	6	61
地域移行	3	4	3	3	2	2	2	2	2	3	3	4	33
地域定着	7	8	9	8	7	8	9	9	9	9	9	9	101

5．障がい別利用者人数

計画相談（給付管理を行ったお客様）（人）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	重症心身障がい	障がい児	合　計
実人数	9	12	86	2	0	1	19	129

委託相談（人）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	重症心身障がい	障がい児	合　計
実人数	3	1	27	3	0	0	4	38

令和３年度　かるべの郷ドリームブリッジ事業報告

１．事業について

精神科病院やグループホームなどの生活を経て一人暮らしをしているお客様に対し、地域において自立した生活が送れるよう、定期的な居宅訪問や緊急時支援を行い、円滑な地域生活に向けた相談・助言などを行っている。9 名の地域生活支援員の内 4 名がピアサポーターであり自身の体験を活かしながら支援を行った。

今年度は、病院から自宅へ退院したお客様やアパートでの一人暮らしを始められたお客様 4 名に対し支援を行った。

２．サービス内容について

1 年を目途に 1 週間に一度お客様の居宅を訪問し、家事、公共料金や家賃の支払い、体調や服薬状況、近隣住民との関係など、生活上の困り事の把握や確認を行い、お客様への必要な情報の提供および助言や相談を行った。また、関係機関（相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、医療機関など）との連携など、自立した日常生活を送れるよう支援を行った。

また、令和 3 年度より新設されたピアサポート体制加算に対応した国が定める研修を全国に先駆け但馬圏域精神障害者ピアサポート研修(基礎研修・応用研修)として開催され、5 名がこれを修了した。

今年度より緊急時支援もサービス内容に組み込まれ、24 時間連絡できる体制を整えお客様が安心して地域で生活ができるよう支援してきた。

３．利用者人数推移

(人)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	1	2	21

対象者(人)

	退所等から 1 年未満	退所等から 1 年以上
利用者数	3	1

４．支援を行った件数

(件)

	定期訪問	同行支援	緊急時支援	合計
回数	69	47	5	121

令和３年度　かるべの郷グループホーム夢一事業報告

１．事業について

アパートや自宅への移行に向けた取り組みとして、令和３年８月にグループホーム夢一サテライト住居を新たに追加した。サテライト住居（一人暮らしのアパート）を定期的に訪問し、自立に向けた支援を提供した。グループホームから自宅に戻る予定のお客様には、外泊時に訪問し、自宅での生活のイメージを共有して、必要な準備、助言を行った。

今年度は５名の入院があったが、入院中も医師や相談員、関係機関と連携し、お客様が安心して入退院できるように努めた。

ピアサポーターがグループホームへの訪問、個別面談を行っているため、ピアサポーターとの連携を意識した。日頃から、ピアサポーターと職員同士が連携を図り、ピアミーティングにも参加し情報共有を行った。

『地域の中で共に暮らす』ことを意識し、地域の住民、商店、関係機関等に受け入れていただけるよう顔の見える関係づくりに努めた。

２．利用者人数推移

夢一	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9
体験	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
夢二	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約	10	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	11
体験	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
夢三	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6
体験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

利用者内訳

区分	非該当	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６
夢一	0	0	1	5	2	1	0
夢二	0	0	3	6	2	0	0
夢三	1	0	3	2	1	0	0

障がい種別	精神障がい	知的障がい	身体障がい
人数	22	4	0

３．職場環境について

・パソコンやノートの記録による申し送りを行った。
・各棟にリーダーとなる職員を配置し、定期的にミーティングで情報共有を行った。
・訪問看護等の外部サービスと連携し、お客様が安心して生活できるように支援した。
・お客様のニーズを確認しながら必要時にはサービス内容の見直しを行った。
・職員間でこまめに声をかけ合い不安や困っている事の共有に努め支援に活かした。
・相談支援事業所や行政機関等の関係機関と連携を行った。

令和３年度　かるべの郷多機能型事業所ドリームスペース事業報告

１．事業について

「社是」「社訓」「行動指針」に基づき、お客様・ご家族様・地域の皆様に喜んでいただけるサービスの提供に取り組んだ。就労継続支援Ｂ型事業・生活介護事業ともにお客様が増えている中で、やりがいのある仕事の場であると共に安心して過ごせる場になるよう取り組んだ。

２．サービス内容について

【就労継続支援Ｂ型事業】

その日の体調に合わせた作業を提供できるよう種類を増やし、お客様のニーズや強みに合わせた作業をしていただけるよう工夫を行った。

作業の手順を記載した工程表を準備するなど、どなたでも分かりやすく作業をしていただけるような支援を実施した。

令和３年度作業内容

分類	内容	時期等
法人内	洗車・清掃（居室・浴室・ベランダ等）・空気清浄器清掃・除草作業・環境消毒	通年
地域貢献	地域清掃	通年
農業	肥料づくり、除草作業	適宜
外部	除草作業（寺院４か所）・施餓鬼旗（寺院 11 か所）・御札作り（寺院２か所） 八鹿名店街協同組合（清掃作業）・やぶ市民交流広場（除草、清掃作業）	通年

【生活介護事業】

生活機能訓練として、掃除や洗濯物たたみ、食器洗い等がご自宅でもできるよう練習を行った。また軽い運動や体操メニューを充実させ、お客様に楽しみながら参加して頂けるよう支援を行ってきた。ご自宅での入浴が困難なお客様には入浴の介助を提供している。

３．活動について

感染症対策として、毎日の検温や体調の確認、手指・環境食毒を行いお客様に安心してご利用いただけるように努めた。また、市民ドックへの参加を勧めるなどお客様の健康維持に繋がる支援を行っている。

【就労継続支援B型事業】

作業だけではなくお客様同士の交流の場として、誕生会などの行事を計画してきた。今年度は2名のお客様が就労され、就労後も相談や助言等を行い就労の継続につながるようサポートを行った。

【生活介護事業】

個々のレクリエーションや体力づくりのメニューを作成し一人一人のニーズに合わせて支援ができるよう取り組んだ。また、お客様同士で経験や悩み事を共有できる環境づくりも行っている。

4月	お花見、誕生会、壁飾り作り	10月	壁飾り作り
5月	消防訓練、誕生会、壁飾り作り	11月	消防訓練、壁飾り作り
6月	クッキング、誕生会、壁飾り作り	12月	壁飾り作り
7月	七夕、壁飾り作り、誕生会	1月	新年会、初詣、壁飾り作り
8月	誕生会	2月	誕生会、壁飾り作り
9月	誕生会、壁飾り作り	3月	誕生会、ひな祭り、壁飾り作り

4.職員の資質向上について

人間力を高め「社是」「社訓」「行動指針」に基づいた対応ができるように、月ごとに目標を立て、振り返りを行う事で職員一人一人の行動を改善できるように努めた。

5.利用人数について

前年度より年間利用者数が増え、就労継続支援B型事業では7名の方が、生活介護事業では2名の方が新たに利用されている。

『平均利用人数(人)』

就労継続支援B型（定員14名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
稼働日数	22	21	22	22	22	22	21	22	22	20	20	23	259
利用者数	261	240	238	245	247	253	262	260	259	278	280	335	3158
1日平均	11.86	11.43	10.82	11.14	11.23	11.50	12.48	11.82	11.77	13.90	14.00	14.57	12.19

生活介護（定員6名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
稼働日数	22	21	22	22	22	22	21	22	22	20	20	23	259
利用者数	122	129	139	139	133	123	123	127	120	114	106	129	1512
1日平均	5.55	6.14	6.32	6.32	6.05	5.59	6.24	5.77	5.45	5.70	5.30	5.61	5.83

令和３年度　かるべの郷放課後等デイサービス事業報告

１．事業について

お客様の健やかな発達及び自立を目指し、ご家族・学校・他機関と連携し多面的に支援を行った。またお客様の持ち得る能力及びニーズを考慮した上で個別の療育プログラムを立て、支援を実施した。より効果的な発達を狙い、お客様の興味関心を引き出す工夫を行うと共に、ご家族様への必要な助言や援助を行った。

２．サービス内容について

・全身を大きく使う運動プログラム及び手先等の細かい運動の訓練を行うことにより、身体感覚の向上を目指し、支援を行った。
・目で見る力を高めるための訓練であるビジョントレーニングを実施した。
・iPad を利用し療育・学習アプリを使用した支援を行った。
・ソーシャルスキルトレーニングを行い、他者との関わり方を練習し学校や日常生活での困りごとの解決に向け支援を行った。
・コミュニケーション面で困難さをお持ちの方に対し、安心して過ごせる環境やスケジュールの設定を行った。また絵カードや写真、現物提示等のわかりやすいコミュニケーション方法を模索し実践した。
・創作活動を通し、表現する力や感性を育んだ。
・個別の発達段階に沿った自立課題及び活動を提供し、発達を促した。
・児童通所支援を対象とした自己評価結果公表にて、ご利用される全ご家庭にアンケートを実施し、サービスの評価をしていただいた上で改善案を提示・公開し取り組んだ。
・お客様・ご家族様・学校・他機関と情報を共有し、一体的に支援が行われるように努めた。
・ご家族様との連絡用として LINE を導入し連絡の円滑化を図った。

令和３年度年間行事

４月	花見・鯉のぼり制作・大規模災害時避難訓練・誕生会・ダンスタイム・季節の壁飾り作り
５月	端午の節句週間・母の日制作・消防訓練・絵本タイム・誕生会・季節の壁飾り作り
６月	虫歯予防週間・絵本タイム・ダンスタイム・季節の壁飾り作り
７月	七夕週間・短冊に願い事を書こう・ダンスタイム・絵本タイム・季節の壁飾り作り
８月	夏祭り遊び・スイカ割り遊び・絵本タイム・ダンスタイム・季節の壁飾り作り

9月	運動会遊び・敬老の日プレゼント作り・誕生会・ダンスタイム・季節の壁飾り作り
10月	ハロウィン制作・じゃんけん大会・誕生会・ダンスタイム・季節の壁飾り作り
11月	勤労感謝の日プレゼント制作・消防訓練・秋を見つけに行こう・季節の壁飾り作り
12月	クリスマス会・お正月飾り作り・大掃除・誕生会・季節の壁飾り作り
1月	初詣・かるた大会・コマ回し大会・季節の壁飾り作り
2月	節分週間・鬼退治ゲーム・誕生会・季節の壁飾り作り
3月	ひな祭り週間・鉄棒遊び・輪投げゲーム・誕生会・季節の壁飾り作り

3.職員の資質向上について

人間力を高め「社是」「社訓」「行動指針」に基づいた対応ができるよう、また自己研鑽に励み専門性を身につけられるよう資格取得や研修への参加を推進した。

また、他の児童福祉サービス事業所を見学し、情報交換等の事業所間の連携を図ると共に、効果的な支援に繋がる環境づくりについて学び、事業所の環境面の見直しを行った。

ご家族様へアンケートを実施しサービスの評価をしていただいた。その結果を集計し職員の資質やサービスの質の向上に活用した。

4.利用人数について

特に長期休暇や土曜日・祝日のご利用に関してのニーズが高く、事業開設時より利用実績が年々増加し続けている。

今年度新たに3名のお客様がご利用を開始され、1名がご利用を終了された。

『平均利用人数(人)』

かるべの郷放課後等デイサービス（定員10名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
稼働日数	26	26	26	27	25	26	26	26	26	24	24	27	309
利用者数	239	241	244	256	245	244	247	243	246	202	200	241	2848
1日平均	9.19	9.27	9.38	9.48	9.80	9.38	9.50	9.35	9.46	8.42	8.33	8.93	9.21

社会福祉法人かるべの郷福祉会　令和３年度事業報告

令和４年６月発行

社会福祉法人かるべの郷福祉会